１１月号
発行日　平成 24 年 11 月１日

学校だより



かりやす



刈安小学校教育理念　「夢」(希望)　「愛」(教育愛)　「信」(信頼)

朝夕の冷え込みが徐々に強まり、平地の紅葉も深みを増してきました。皆様には、いかがお過ごしでしょうか。少し風邪も流行っていますので、お体をご自愛下さい。

さて、先日(10/29)のマラソン大会では、多くの方々のご参観をいただき、誠にありがとうございました。今年度から、子ども達に体力をつけるために全学年とも距離を２００m延長致しましたが、子ども達は全員最後まで走りきり、自分を出し切った走りをすることができました。また、仲間を温かく応援することもできました。マラソン大会の目的（〇健康増進をはかり、最後まで粘り強く走ろうとする態度を養う〇仲間を思いやる心を育てる）を充分に果たすことができた、すばらしい学校行事となりました。以下は、各カテゴリー別の１位記録です。

学　　年	男女別	距　　離	１位記録
５・６年	男	２２００m	9’２４”５９
５・６年	女	２０００m	8’３２”９８
４年	男・女	１８００m	8’１４”６３
３年	男・女	１６００m	6’３８”２９
２年	男・女	１４００m	7’１６”２３
１年	男・女	１２００m	5’５９”９４



本校では、子ども達の情操を育て、集中力をつけるために「刈安っ子さわやかタイム」として、朝の８時１０分から２０分迄の１０分間を読書や暗唱の時間としています。各学年ともこの時間を大切にし、真剣に取り組んでいます。特に、３・４年生の取り組む姿勢がとても素晴らしいです。学校公開日には、授業だけでなく、是非この時間も見ていただければと思っています。

話が変わりますが、１０月の５・６年生の暗唱課題が、有名な鴨長明の方丈記の冒頭にある一文でした。その文を紹介致します。（課題は、下線のある部分のみ）

11月学校行事等予定

日	曜日	内容
1	木	いしかわ教育の日,教育ウィーク(～7日),学校公開週間(～7日まで),児童集会(2限),語学指導協力員来校日,特別日課
2	金	
3	土	【文化の日】
4	日	学校公開日,学校説明会,収穫感謝祭･もちつき大会(10:30～13:00),引渡し防災訓練,PTA花壇球根植え
5	月	週休日(11/4)振替
6	火	新掃除場所開始,ろう下水ぶき開始(～13日)
7	水	授業４限まで,給食後帰りの会13:00～13:15,児童完全下校 13:20
8	木	児童委員会活動
9	金	
10	土	津幡町商工会工業展･ドラム缶「モニュメント」設置(11:00頃)
11	日	
12	月	卒業記念写真・職員記念写真撮影,PCサポーター来校日
13	火	授業4限まで,アルミ缶エコキャップボランティア
14	水	ワックスがけ(ろう下)
15	木	PCサポーター来校日
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	授業5限まで
21	水	PCサポーター来校日,クラブ活動
22	木	「いしかわ学校読書の日」
23	金	【勤労感謝の日】
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	アルミ缶エコキャップボランティア
28	水	授業5限まで,3･4年は6限まで
29	木	語学指導協力員来校日,安全点検日
30	金	学校集会(8:15～8:30)

●12月の主な学校行事等

PTA委員会(7日),町学力調査5年(11日)学級集金日(12日),通知表渡し・個人懇談会(20日), 終業式(21日)

行く川のながれは絶えずして､しかも本の水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとゞまることなし。世の中にある人とすみかと、またかくの如し。玉しきの都の中にむねをならべいらかをあらそへる・・・

校内を巡回中にこの文が目にとまりました。高校生の頃は､古文が大嫌いで何故こんなものを勉強しなければならないのかと思っていましたが､あれから４０年近く経った今頃になって､ふと心にしみいるものがありました。今は、良さが理解できなくても、後日その良さがわかることはたくさんあります｡鉄は熱いうちに打てと言いますが､今のこの時期にいろいろな知識を仕入れ、たくさんの本を読むことは大切ですね。先日、図書便りが発行され､お手元に届いていることと思いますが、そこでは、「家読(うちどく)」のお願いもあったと思います｡上で書いように昔はこうだったけど、今はこうだよといったような話をもっと家族でしていればなぁと今頃になって後悔しています｡家族と自然と話し合える機会として家読はいかがでしょうか。家読（うちどく)にむずかしいきまりはありません。

・家族で同じ本を読む
・家読（うちどく）の日、時間を決めてみんなで読む
・読んだ本の感想をみんなで話し合う
・自分のおすすめの本を教えてあげる
・家族に本を読んであげる

家族で本を楽しむことができればそれが家読（うちどく）です。
それぞれのご家庭にあった家読（うちどく）スタイルをつくってみてはいかがでしょうか。